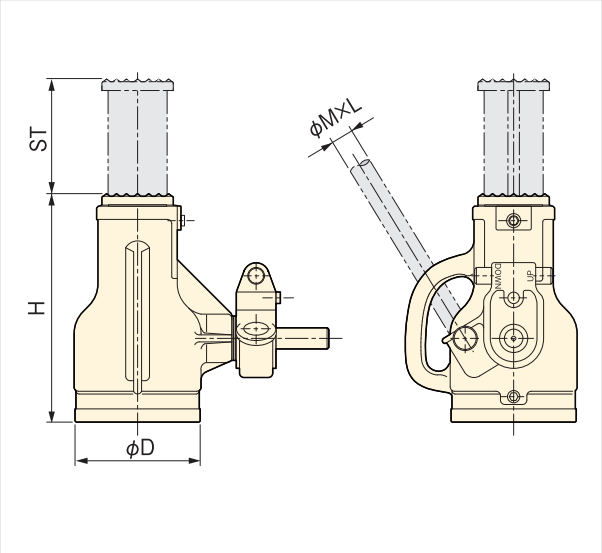
ジャーナルジャッキ

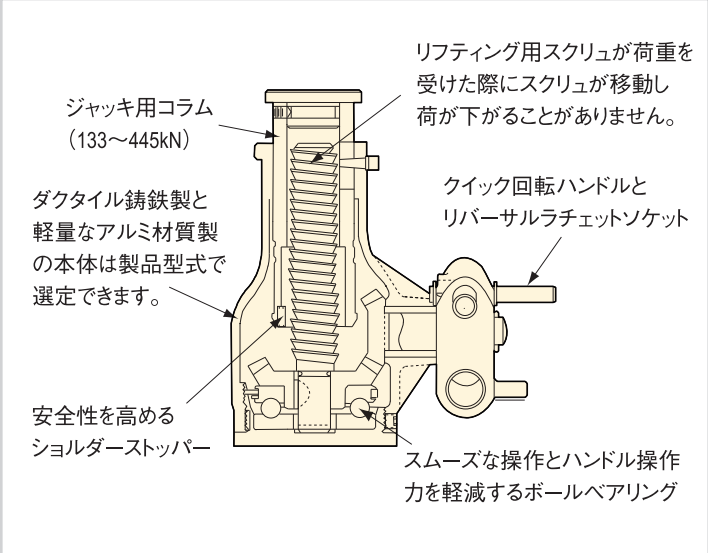
特長

- 多様な用途に対応できる8種類の製品をラインアップしました。
- ジャッキの材質は鉄製と軽量なアルミ製を選択できます。
- ハンドル操作が軽く、スムーズにストロークできます。
- ジャッキアップされた荷重はメカ的に保持されるのでストロークが下がる心配はありません。
- 過酷な用途でも安全に使用できる構造のメカニカルジャッキで、耐久性にも優れています。
- ハンドル棒は別売です。

▼ 外形寸法図



▼ 構造図



▼ 仕様

型式	材質	揚力 (kN)	揚程 ST(mm)	最低高さ H(mm)	ベース径 D(mm)	最大ハンドル操作力 (N)	質量 (kg)	ハンドル棒（別売） 型式	φM径×長さ (mm)	質量 (kg)
A1510C	アルミ製	133	127	260	140	600	12.7	10640	φ25.4×914	3.6
2510C	鉄製	222	127	260	140	667	19.5			
A2510C	アルミ製	222	127	260	140	667	15.4			
A2515C		222	229	381	140	667	19.5			
3510D	鉄製	311	127	260	140	778	20.0			
A3510D	アルミ製	311	127	260	140	778	15.4			
5010B	鉄製	445	102	262	184	889	36.3	10660	φ25.4×1422	7.3
A5010B	アルミ製	445	102	262	184	889	27.7			

注意事項

▼ジャーナルジャッキの操作方法

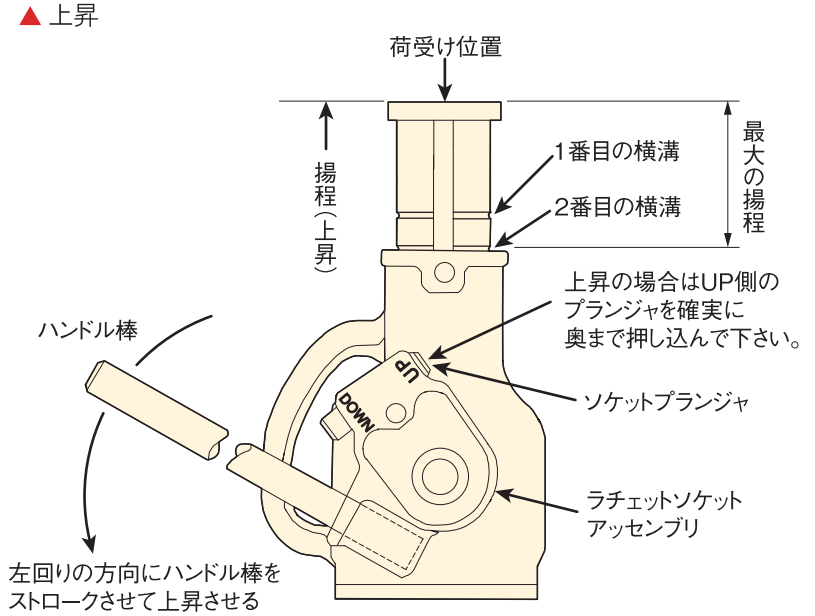
- ジャッキを操作するために、ハンドル棒をソケットの奥まで差し込んでください。
- ソケットプランジャ(歯止め)を確実にUP、DOWNの選択位置へ押し込んでください。
- 下記の図のように力を加えながら、ハンドル棒を指示された方向にストロークさせて下さい。

▼注意

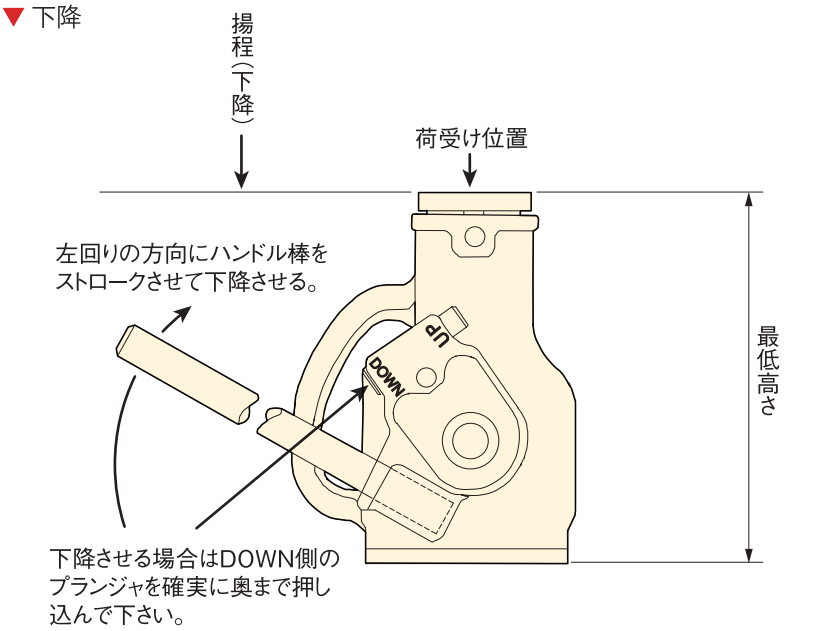
- 上昇図のコラムに刻まれた1番目の横構は、ジャッキの揚程をオペレータに示す溝です。更に2番目の横溝が見えれば、ジャッキが持つ揚程が終了したことを示しています。
- 2番目の横溝を超えてジャッキアップはできません。ジャッキアップ作業を停止して下さい。

⚠ ジャッキを使用する前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

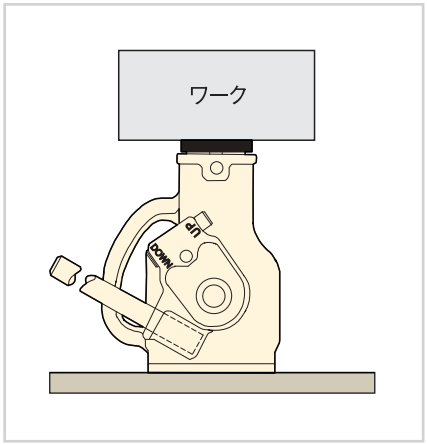
▲上昇



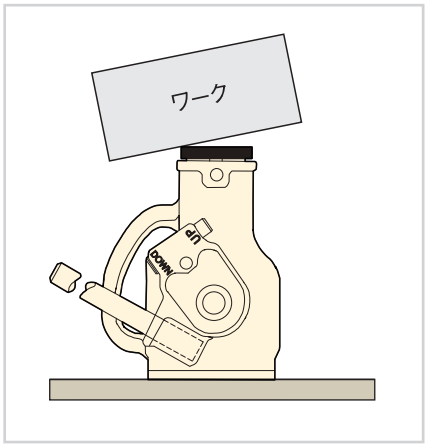
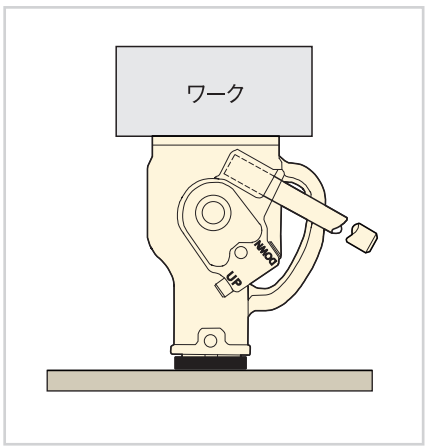
▼下降



○正しい使い方



✕偏荷重では使用できません



✕逆にして使用できません